

令和6年度 ハンズオン支援の事例

桑名地域

株式会社 K I M O T O（いなべ市）

四日市地域

農事組合法人 農地担い手管理機構（四日市市）

ガーデニングショー鈴鹿実行委員会（鈴鹿市）

津地域

三行純正まこもの会（津市）

伊勢地域

伊勢の横輪いも推進協議会（伊勢市）

株式会社KIMOTO（いなべ市）

農地面積約440haの中山間地域であり、地域全体が高齢化、人口減少により休耕地が多くなっており、地域農村環境の荒廃が発生しています。また、一部の農地では、獣害の発生も見られます。

地域の水田農業の担い手として休耕田を利用して環境に配慮したお米づくりを実践します。さらに有機JAS認証取得に取り組み、地域の魅力を世界中に発信します。また、獣害対策として獣害が少ないダリアを栽培し、地域の憩いの場所として観光園を運営します。



スタートアップの取組

株式会社きもとでは、令和6年から有機JAS認証取得に向けた取組を行っています。開始したばかりで地元住民含め消費者へあまり認知されていません。そこで、通行人の興味を引き、来場者をさらに増やして地域内外のファンを増やすことが重要です。そこで、ハンズオン支援では、有機栽培への取組が一目でわかる「のぼり」を作成しました。



宣伝用のぼり



販売されている米

これからの取組予定

①有機JASの認証取得を行うとともに、地域の魅力を世界中に発信するため、海外への輸出を行います。

②ダリア園を開き、地域内外から集客を行い、より効率的に地域の魅力をより多くの方に発信していきます。



ダリア園

農事組合法人 農地担い手管理機構

(四日市市)

農地担い手管理機構は、四日市市の南西部に位置する小山集落で集落営農を法人化し、地域の担い手として、経営安定に向けた取組をしています。

法人の活性化に向けて、新規就農者を雇用し、小麦・キャベツ・ナバナ・クリなどの新規作物に取り組み、さらには、子供の食育・収穫イベントも主催しています。



スタートアップの取組

小山田米のブランド化に向けて、高品質米を市のふるさと納税返礼品やインターネット等を活用して販売しています。



ふるさと納税返礼品
(小山田米)

1 残すべき農地の権利設定

所有者の承諾を得て、放任茶園を伐根整地し、農地に還元。果樹(クリ・ウメ等)を植栽しています。

2 周年栽培+規模拡大

集落営農を法人化して、新規作物(小麦・キャベツ・ナバナ等)を導入し、経営の安定化を図っています。



放棄地を伐根整地し樹園地に



ドローンによる施肥作業



収穫体験：サツマイモ

これからの取組予定

集落ビジョンや地域活性化プランの推進による地域の活性化を継続します。

1 規模拡大に対応したICT活用

新規就農者を雇用し、農作物の基本知識や各種資格取得を促進します。ドローンによる施肥や病害虫・雑草防除に取り組んでいきます。

2 食育・収穫イベント開催

近隣保育園の園児を対象に、子供が農業に関心を持つことを目的に、食育イベントを開催していきます。(小山のサツマイモ等をPR)

ガーデニングショー 鈴鹿実行委員会 (鈴鹿市)

鈴鹿市の植木産地では主に公共緑化樹として、都市、道路、工場などの需要に対応し展開しています。しかし、近年の需要の減少を受けて、ホームユース向けの商品の生産など生産体制、樹種、数量の見直しが進みつつあります。

そこで、ガーデニングショーを開催することで新たな販路の開拓に取り組んでいます。



スタートアップの取組

鈴鹿市の植木産地では多種多様な植木を生産しており、花き卸売市場を介したホームユース向けの販売を強化していく必要があります。そのために、市場の買参人を対象としたガーデニングショーを開催しました。



ポスターデザイン

ポスターの作成や Facebookでの呼びかけを行い、来場者に対して産地の植木をPRしました。



ガーデニングショーの様子



大鉢商品

これからの取組予定

他ではあまり見られない大鉢生産と、三重の植木産地の強みである生産樹種が多いという特徴を生かし、他県で生産されていない樹種の大鉢生産を積極的に行います。



委員会の様子

今後も改善を重ねつつ、継続してガーデニングショーを開催していくことで、三重県の植木をPRしていきます。

三行純正まこもの会（津市）

河芸町三行（みゆき）地区は、津市北東部の丘陵地帯に位置し、中勢バイパスで鈴鹿と津市中心部に挟まれた農村地域です。良質な黒田米の産地として知られています。

三行地区でマコモ栽培に取り組んだのは40年近く前です。一度は消えたマコモに再挑戦しています。津市の、河芸の特産品を目指しています。



スタートアップの取組

「道の駅津かわげ」では、産直コーナーが盛況。そこでマコモを売ろう、人気商品にしよう、という活動に取り組みました。



マコモの独占コーナー



試験品種の栽培中

これからの取組予定

「マコモの売り上げを伸ばして、栽培仲間も増やして、収穫祭もしたい」と考えています。雑草との闘いなど、課題を解決していきたい。

1 まず知名度アップを

お客さんに地元農家、マコモを知ってもらふ余地はまだある、と考えています。

直売所の売り場でPRに努めています。



美杉のユニフォームで販売中

2 津市のマコモを盛り上げる

美杉太郎生地区の「八十六石マコモの会」の活動にも参加しています。協力して学校給食にも提供しています。



水煮なら一年中お届けできます

1 栽培技術などの研究

品種試験や栽培技術の検討をしています。収穫期間をより長く、店頭に長く並ぶよう、研究しています。

2 加工品づくり

年中マコモ商品を販売できるように、葉なども活用し、水木や粉末に加工しました。

また、新たな商品作りにチャレンジしています。

伊勢の横輪いも推進協議会

（伊勢市）

伊勢市横輪町は伊勢市街から南西約10km、南伊勢町との境に位置し、かつては伊勢市から南伊勢町五ヶ所へ通じる街道の人の交流や物流の要所として栄えました。その地で、昭和初期に九州地方から持ち帰ったと伝わる「横輪いも」は、集落内で脈々と受け継がれ横輪の食文化に欠かせない特産物となっています。

「伊勢の横輪いも推進協議会」は、横輪いもの栽培を核とした様々な取組を行い、横輪町の活性化に繋がっています。



地理的表示申請の取組

農水省に地理的表示（GI）保護制度の登録を申請中です。GI登録により、横輪いもを横輪地区特有の産品として更に広くPRしていきます。

※地理的表示（GI）保護制度
その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因・環境の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護するもの。

横輪いもの特徴

横輪いもの「とろろ」は、つきたての餅のような伸びと粘りがあり、濃厚な味わいです。



栽培ほ場設置看板



とろろ入り伊勢うどん



カステラ「明野そよ風」



栽培ほ場

これからの取組予定

近隣地区生産者と連携し安定した生産量を確保していくとともに、高校や小学校などと連携して横輪いものPR等に取り組めます。

- 1 高校との連携による商品開発
伊勢市にある県立明野高校食品科学科の生徒が横輪いもを使ったカステラを商品化しました。生地に横輪いもの粉末を混ぜ込み、もっちりとした食感のカステラとなっています。今後も引き続き連携して加工品の開発や商品PRに取り組めます。
- 2 小学生の農業体験受入れ
地元小学生の食育体験として、横輪いもの植え付けや収穫体験を実施していきます。

地域活性化プランに関する問合せ先

問合せ先	電話番号
農林水産部 担い手支援課	059-224-2016

地域機関の窓口	電話番号
桑名農政事務所 農政室 地域農政課	0594-24-7421
四日市農林事務所 農政室 地域農政課	059-352-0629
津農林水産事務所 農政室 地域農政課	059-223-5102
松阪農林事務所 農政室 地域農政課	0598-50-0515
伊勢農林水産事務所 農政室 地域農政課	0596-27-5164
伊賀農林事務所 農政室 地域農政課	0595-24-8108
尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 地域農政課	0597-23-3498
熊野農林事務所 農政室 地域農政課	0597-89-6122